

1. 令和2年度事業活動収支計算書 (決算規模812億円)

1. 事業活動収支においては、27億100万円の収入超過となりました。
2. 基本金組入額を72億3,700万円計上しました。

(単位:千円)

No.	科目	予算	決算	差異
1	学生生徒等納付金	27,890,957	27,559,387	331,570
2	手数料	1,472,622	1,296,879	175,743
3	寄付金	913,666	998,353	△ 84,687
4	経常費等補助金	5,448,618	10,483,626	△ 5,035,008
5	付随事業収入	1,226,671	951,839	274,832
6	医療収入	41,717,156	36,616,007	5,101,149
7	雑収入	1,397,395	1,573,520	△ 176,125
8	教育活動収入計	80,067,085	79,479,611	587,474
9	人件費	41,730,462	40,699,978	1,030,484
10	(うち退職給与引当金繰入額)	(1,955,479)	(1,952,724)	(2,755)
11	教育研究経費	34,436,671	33,208,300	1,228,371
12	(うち減価償却額)	(5,670,971)	(5,803,679)	(△132,708)
13	管理経費	3,651,679	3,528,171	123,508
14	(うち減価償却額)	(381,059)	(380,988)	(71)
15	徴収不能額等	0	11,722	△ 11,722
16	教育活動支出計	79,818,812	77,448,171	2,370,641
17	教育活動収支差額(8-16)	248,273	2,031,440	△ 1,783,167
18	受取利息・配当金	865,172	1,083,066	△ 217,894
19	その他の教育活動外収入	50,000	37,000	13,000
20	教育活動外収入計	915,172	1,120,066	△ 204,894
21	借入金等利息	113,302	113,110	192
22	その他の教育活動外支出	0	0	0
23	教育活動外支出計	113,302	113,110	192
24	教育活動外収支差額(20-23)	801,870	1,006,956	△ 205,086
25	経常収支差額(17+24)	1,050,143	3,038,396	△ 1,988,253
26	資産売却差額	0	89,194	△ 89,194
27	その他の特別収入	278,819	555,999	△ 277,180
28	特別収入計	278,819	645,193	△ 366,374
29	資産処分差額	0	962,915	△ 962,915
30	その他の特別支出	2,932	19,571	△ 16,639
31	特別支出計	2,932	982,486	△ 979,554
32	特別収支差額(28-31)	275,887	△ 337,293	613,180
33	[予備費]	(229,873)		276,126
34	基本金組入前当年度収支差額(25+32-33)	1,049,904	2,701,103	△ 1,651,199
35	基本金組入額合計	△ 8,391,612	△ 7,237,375	△ 1,154,237
36	当年度収支差額(34+35)	△ 7,341,708	△ 4,536,272	△ 2,805,436
37	前年度繰越収支差額	△ 23,837,528	△ 21,975,118	△ 1,862,410
38	基本金取崩額	0	113,473	△ 113,473
39	翌年度繰越収支差額(36+37+38)	△ 31,179,236	△ 26,397,917	△ 4,781,319
40	事業活動収入計(8+20+28)	81,261,076	81,244,870	16,206
41	事業活動支出計(16+23+31+33)	80,211,172	78,543,767	1,667,405

経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支を見ることができ、2年度は20億3,100万円の収入超過となりました。予算に対して経常費等補助金が50億3,500万円増加、医療収入が51億100万円減少しました。

経常的な収支バランスを見ることができ、2年度は30億3,800万円の収入超過となりました。

資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、2年度は3億3,700万円の支出超過となりました。

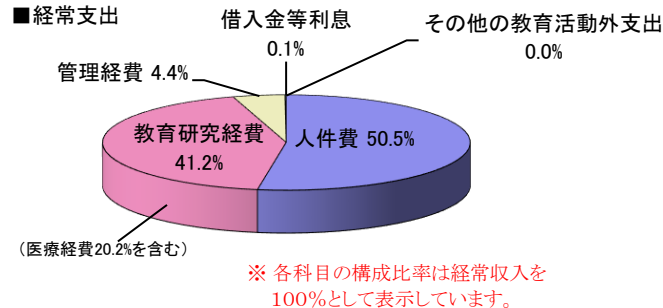
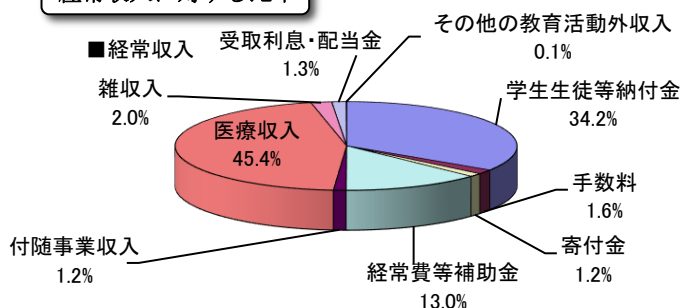
良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額であり、予算に対して施設関係支出が減少したことにより減少しました。

経常的な収支のうち、財務活動の収支を見ることができ、2年度は10億700万円の収入超過となりました。

毎年度の収支バランスを見ることができ、従来の帰属収支差額です。2年度は27億100万円の収入超過となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除したものです。2年度は45億3,600万円の支出超過となりました。

経常収入に対する比率



※ 各科目の構成比率は経常収入を100%として表示しています。

【事業活動収支決算の概要(予算との比較)】 (注: ↑…増加を示す ↓…減少を示す)

《収入の部》

《支出の部》

- No. 4 経常費等補助金 ↑ コロナ関係補助金および授業料減免費交付金の増額。
- No. 6 医療収入 ↓ コロナ禍による病院部門の入院および外来患者数の減少。

- No. 9 人件費 ↓ 教員数の差異等による減少。
- No. 11 教育研究経費 ↓ コロナ禍による経費(実験実習費・旅費・光熱水費他)の減少。
- No. 29 資産処分差額 ↑ 固定資産の除却損および有価証券の償還差損。

- ・ No. 34基本金組入前当年度収支差額 (No. 40事業活動収入-No. 41事業活動支出) は、27億100万円の収入超過となり、事業活動収支差額比率 (No. 34基本金組入前当年度収支差額÷No. 40事業活動収入) は、3.3%となっています。
- ・ 人件費比率 (No. 9人件費÷経常収入 [No. 8教育活動収入+No. 20教育活動外収入]) は50.5%となり、前年度より2.3ポイント低くなっています。

2. 令和2年度資金収支計算書

(決算規模1,605億円)

(単位:千円)

収入の部				
No.	科目	予算	決算	差異
1	学生生徒等納付金収入	27,890,957	27,559,387	331,570
2	手数料収入	1,472,623	1,296,879	175,744
3	寄付金収入	974,053	1,012,964	△ 38,911
4	補助金収入	5,667,050	10,888,589	△ 5,221,539
5	資産売却収入	0	39,688,315	△ 39,688,315
6	付随事業・収益事業収入	1,276,671	988,838	287,833
7	医療収入	41,717,156	36,616,007	5,101,149
8	受取利息・配当金収入	865,172	1,083,066	△ 217,894
9	雑収入	1,397,395	1,581,432	△ 184,037
10	前受金収入	5,274,697	5,169,418	105,279
11	その他の収入	30,308,678	31,101,917	△ 793,239
12	資金収入調整勘定	△ 13,746,783	△ 14,048,922	302,139
13	前年度繰越支払資金	16,012,460	17,580,136	△ 1,567,676
14	収入の部合計	119,110,129	160,518,026	△ 41,407,897

《収入の3本柱》

学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。

国や地方公共団体などからの助成金です。

福岡大学病院、筑紫病院、西新病院、博多駅クリニックの医療収入です。

・長期、短期の貸付金の回収額
・税金等の預り金受入額
・特定の目的のために積み立てた資産を取崩した場合の収入額

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

(単位:千円)

支出の部				
No.	科目	予算	決算	差異
15	人件費支出	41,649,723	40,457,808	1,191,915
16	教育研究経費支出	28,765,699	27,391,450	1,374,249
17	管理経費支出	3,273,553	3,152,467	121,086
18	借入金等利息支出	113,302	113,110	192
19	借入金等返済支出	568,150	568,150	0
20	施設関係支出	4,787,696	3,088,871	1,698,825
21	設備関係支出	4,301,098	3,760,215	540,883
22	資産運用支出	4,107,032	49,182,799	△ 45,075,767
23	その他の支出	20,153,104	22,416,445	△ 2,263,341
24	[予備費]	(229,873)	278,362	278,362
25	資金支出調整勘定	△ 6,921,454	△ 6,460,742	△ 460,712
26	翌年度繰越支払資金	18,033,864	16,847,453	1,186,411
27	支出の部合計	119,110,129	160,518,026	△ 41,407,897

教職員に支払われる給与などのことです。

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために資産を積み立てるための支出などです。

学生生徒等の教育・研究・医療のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

(注) [予備費]は未使用額を表し、()内の金額は使用額を示す。

【資金収支決算の概要(予算との比較)】 (注: ↑…増加を示す ↓…減少を示す)

《収入の部》		《支出の部》	
No. 4 補助金収入	↑ コロナ関係補助金および授業料減免費交付金の増額。	No. 15 人件費支出	↓ 教員数の差異等による減少。
No. 5 資産売却収入	↑ 有価証券の満期および早期償還。	No. 16 教育研究経費支出	↓ コロナ禍に伴う経費(実験実習費・旅費・光熱水費・学友会援助費・学生補導厚生費)の減少。
No. 7 医療収入	↓ コロナ禍による病院部門の入院および外来患者数の減少。	No. 20 施設関係支出	↓ 建物支出(建設仮勘定含む)の減少。
		No. 22 資産運用支出	↑ 有価証券の購入。

[資金収支規模と翌年度繰越支払資金]

- ・資金収支決算の合計は1,605億円で、前年比218億3,300万円の財政規模拡大となっています。
- ・資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は168億円で、前年比7億3,300万円の減少となっています。

- (令和2年度に取得した主な施設・設備)
- 《施設関係》(建物・構築物・建設仮勘定)
1. 新公認室内プール(仮称)新築工事
 2. 自修寮新築工事
 3. 体育寮新築工事
 4. 福岡大学病院新本館(仮称)新築工事に伴う設備盛替他工事
 5. 附属大濠中学校・高等学校第1グラウンド人工芝張替工事
- 《設備関係》(機械器具)
1. キャンパスネットワーク関連機器
 2. 教育研究メディアシステム
 3. 医療用リニアック装置
 4. ハイブリッド手術室本体装置一式
 5. パイプライン血管撮影装置

3. 令和2年度活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

No.		科目	金額	
1	教育活動による資金収支	学生生徒等納付金収入	27,559,387	
2		手数料収入	1,296,879	
3		特別寄付金収入	997,236	
4		経常費等補助金収入	10,483,626	
5		付随事業収入	951,839	
6		医療収入	36,616,007	
7		雑収入	1,557,261	
8		教育活動資金収入計	79,462,235	
9		支出	人件費支出	40,457,808
10			教育研究経費支出	11,763,208
11			医療経費支出	15,628,242
12			管理経費支出	3,147,458
13		教育活動資金支出計	70,996,716	
14		差引 (8-13)	8,465,519	
15		調整勘定等	△ 82,379	
16		教育活動資金収支差額 (14+15)	8,383,140	
17	施設整備等活動による資金収支	施設設備寄付金収入	15,728	
18		施設設備補助金収入	404,963	
19		施設設備売却収入	8,786	
20		第2号基本金引当特定資産取崩収入	2,212,195	
21		引当特定資産取崩収入	3,037,873	
22		施設整備等活動資金収入計	5,679,545	
23		支出	施設関係支出	3,088,871
24			設備関係支出	3,760,214
25			第2号基本金引当特定資産繰入支出	2,000,000
26			引当特定資産繰入支出	3,270,024
27		施設整備等活動資金支出計	12,119,109	
28		差引 (22-27)	△ 6,439,564	
29		調整勘定等	△ 952,126	
30		施設整備等活動資金収支差額 (28+29)	△ 7,391,690	
31		小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) (16+30)	991,450	
32		その他の活動による資金収支	有価証券売却収入	39,668,513
33	金銭信託売却収入		11,016	
34	引当特定資産取崩収入		1,813,026	
35	その他の収入		15,713,643	
36	小計		57,206,198	
37	受取利息・配当金収入		1,083,066	
38	収益事業収入		37,000	
39	過年度修正収入		24,171	
40	その他の活動資金収入計		58,350,435	
41	支出		借入金等返済支出	568,150
42			有価証券購入支出	40,085,326
43			金銭信託支出	11,016
44			第3号基本金引当特定資産繰入支出	1,646,121
45			第4号基本金引当特定資産繰入支出	121,000
46			引当特定資産繰入支出	2,048,747
47			その他の支出	15,476,125
48		小計	59,956,485	
49	借入金等利息支出	113,110		
50	過年度修正支出	5,009		
51	その他の活動資金支出計	60,074,604		
52	差引 (40-51)	△ 1,724,169		
53	調整勘定等	37		
54	その他の活動資金収支差額 (52+53)	△ 1,724,132		
55	支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額) (31+54)	△ 732,682		
56	前年度繰越支払資金	17,580,136		
57	翌年度繰越支払資金	16,847,454		

【教育活動による資金収支】
キャッシュベースでの本業である教育活動の収支状況を見るものです。

【施設整備等活動による資金収支】
当該年度に施設設備の購入がどれだけあり、財源がどうであったかを見るものです。

【その他の活動による資金収支】
借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動を見るものです。

○活動区分資金収支計算書について

活動区分資金収支計算書は、学校法人会計基準の改正により、平成27年度決算より作成が義務付けられた計算書です。

令和2年度決算では、No.16 教育活動資金収支差額は83億8,300万円の収入超過、No.30施設整備等活動資金収支差額は73億9,200万円の支出超過になり、合計は9億9,100万円の収入超過になりました。また、No.54 その他の活動資金収支差額は17億2,400万円の支出超過となり、令和2年度の支払資金の減少額は7億3,300万円になりました。

4. 貸借対照表

(決算規模2,400億円)

(単位:千円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	213,476,778	211,466,072	2,010,706
有 形 固 定 資 産	120,007,560	119,598,412	409,148
土地	20,508,229	20,495,126	13,103
建物	65,418,574	65,260,910	157,664
構築物	3,963,052	3,945,712	17,340
建造物	14	181	△ 167
教育研究用機器備品	10,583,825	9,504,777	1,079,048
管理用機器備品	115,356	129,264	△ 13,908
図書	16,955,672	16,915,251	40,421
車両	48,203	38,635	9,568
土地購入前渡金	0	10	△ 10
建設仮勘定	2,414,635	3,308,546	△ 893,911
特 定 資 産	91,088,477	89,065,679	2,022,798
第2号基本金引当特定資産	6,186,943	6,399,138	△ 212,195
第3号基本金引当特定資産	4,000,000	2,353,879	1,646,121
第4号基本金引当特定資産	5,818,000	5,697,000	121,000
その他の特定資産	75,083,534	74,615,662	467,872
そ の 他 の 固 定 資 産	2,380,741	2,801,981	△ 421,240
電話加入権等	123,624	129,932	△ 6,308
収益事業元入金	787,289	900,893	△ 113,604
貸付金	15,036	16,070	△ 1,034
貸与奨学金	1,192,132	1,439,906	△ 247,774
預託金	70,908	70,819	89
差入保証金	49,647	49,732	△ 85
長期前払金	142,105	194,629	△ 52,524
流 動 資 産	26,525,442	26,738,679	△ 213,237
現金預金	16,847,453	17,580,136	△ 732,683
未収入金	8,959,051	8,430,741	528,310
材料	106,320	118,219	△ 11,899
貯蔵品	7,939	7,566	373
立替金	4,867	6,433	△ 1,566
短期前払金	598,902	595,504	3,398
仮払金	910	80	830
資 産 の 部 合 計	240,002,220	238,204,751	1,797,469

校舎、寮、体育館等の建物および建物附属設備(空調等)の額のことです。

将来の特定の目的のために使用する資産のことです。

現金およびすぐに引き出すことのできる預貯金のことです。

教育研究のために使用される機械設備等の額のことです。

学生生徒等に貸与している奨学金の額のことです。

決算日(3月31日)における補助金等の未収額のことです。

返済期限が1年を超えて到来する借入金のことです。

返済期限が1年以内に到来する借入金のことです。

財産的な基盤となる額のことです。学校法人福岡大学が安定的かつ永続的に存続していくために必要な額です。

2年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額の額のことです。

翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金等のことす。

負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	24,855,396	25,546,855	△ 691,459
長期借入金	4,849,800	5,417,950	△ 568,150
長期未払金	578,681	944,159	△ 365,478
退職給与引当金	19,426,915	19,184,746	242,169
流 動 負 債	13,188,046	13,400,221	△ 212,175
短期借入金	568,150	568,150	0
短期未払金	6,087,145	6,257,314	△ 170,169
前受金	5,169,418	5,183,393	△ 13,975
預り金	1,353,330	1,391,033	△ 37,703
仮受金	10,003	331	9,672
負 債 の 部 合 計	38,043,442	38,947,076	△ 903,634
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	228,356,695	221,232,793	7,123,902
第1号基本金	212,351,752	206,782,776	5,568,976
第2号基本金	6,186,943	6,399,138	△ 212,195
第3号基本金	4,000,000	2,353,879	1,646,121
第4号基本金	5,818,000	5,697,000	121,000
第1号(施設・設備取得)	自己資金で購入した施設設備費の累計額。		
第2号(計画組入)	将来の施設設備取得のための積立金。		
第3号(各種基金)	奨学基金等として保持している金額。		
第4号(運転資金)	恒常的に保持すべき資金の額(1カ月分の運転資金)。		
繰越収支差額	△ 26,397,917	△ 21,975,118	△ 4,422,799
翌年度繰越収支差額	△ 26,397,917	△ 21,975,118	△ 4,422,799
純 資 産 の 部 合 計	201,958,778	199,257,675	2,701,103
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	240,002,220	238,204,751	1,797,469

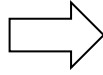
事業活動収支計算書の当年度収支差額の累計額を表します。長期的な収支の均衡を判断する指標となります。

学校法人福岡大学の財政状態を分かりやすく見るために、それぞれを構成比で表しました。

(貸借対照表の構造)

資産の部		負債の部
固定資産	有形固定資産	固定負債
	特定資産	流動負債
	その他の固定資産	純資産の部
流動資産		基本金
		繰越収支差額

※資産 = 負債 + 純資産



※令和3年3月31日現在の財政状態

資産の部	負債の部	
有形固定資産 50.0	借入金等 5.6	負債 15.9
	退職給与引当金 8.1	
	前受金 2.2	
	純資産の部	
特定資産 38.0	第1号 88.5	基本金 95.1 学校法人福岡 大学が存続して いくために 必要な額です。
その他の固定資産 1.0	第2号 2.6	第3号 1.6
流動資産 11.0	第4号 2.4	繰越収支差額 △11.0

【貸借対照表の概要（前年度末との比較）】 (注：↑…増加を示す ↓…減少を示す)

(資産の部) 資産総額は17億9,700万円の増加。

- 特定資産 ↑
第3号基本金引当特定資産の増加。

(負債の部) 負債総額は9億400万円の減少。

- 長期借入金 ↓
借入金の返済による減少。

(純資産の部) 純資産総額は27億100万円の増加。資産総額に占める純資産（自己資金）の割合は84.1%で0.5ポイント増加。

- 第1号基本金 ↑
新公認室内プール・自修寮・体育寮新築工事等に係る組入れによる。
キャンパスネットワーク及び教育研究メディアシステム
関連機器購入に係る組入れによる。
- 第3号基本金 ↑
第3号基本金組入れ計画による組入れ。
- 繰越収支差額
翌年度繰越収支差額をマイナス263億9,800円計上。

【学校法人会計の豆知識】

・学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公共性の高い法人です。

(1) 資金収支計算書

- ① 収入支出ごとに一覧表示になっており、予算管理に適した計算書です。
- ② 家庭でいえば家計簿のように現金預金の出入りを集計した計算書です。
- ③ 資金収支計算書を基に作成する「活動区分資金収支計算書」は、企業会計の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持ち、活動区分ごとの資金の流れを明らかにする計算書です。

(2) 事業活動収支計算書

- ① 企業会計の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
- ② 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されています。

(3) 貸借対照表

- ① 年度末における資産・負債・純資産を表します。
- ② 財政状態の健全性、必要資産の保有状況、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。